

## 想 定 事 象 ( 案 )

- 1 事象発生年月日 平成 28 年 10 月 14 日 (金) 及び 15 日 (土)  
 (訓練実施年月日 平成 28 年 10 月 14 日 (金))
- 2 訓練対象発電所 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第二原子力発電所〇号機

### 3 自然災害

発生事象	状 況
14 日 [09:00] 福島県沖を震源 (震源深さ 30 km) とする M7 の地震発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楢葉町などで最大震度 6 弱の地震を観測した。</li> <li>・ 地震発生後 20 分程度後に浜通り沿岸北部に 2 m 程度の津波が到達した。</li> <li>・ 浜通りに人的、物的被害が発生している。</li> <li>・ 地震の影響で土砂崩れが発生し、道路の一部がふさがれている。</li> </ul>

### 4 原子力災害

発生事象	状 況
① 14 日 [09:15] 警戒事象発生 (EAL1)	福島第二原子力発電所の 4 号機使用済燃料プール冷却系停止及び燃料プール水の漏えいが発生した。 [東京電力からの通報 (FAX 受信)]
② [13:30] 10 条事象発生 (EAL2)	その後、原因の特定ができず、燃料プール水の水位維持ができない。[東京電力からの通報 (FAX 受信)]
③ [14:35] 15 条事象発生 (EAL3)	<p>復旧活動は継続しているが、原因を特定できない。</p> <p>また、復旧 (水位維持) が出来ないため、水位低下が継続し、燃料集合体頂部から上方 2 m まで水位低下を確認した。</p> <p>さらに、発電所敷地境界付近のモニタリングポストの指示値が上昇していることが確認された (原因は特定出来ず)。[東京電力からの通報 (FAX 受信)]</p>
スキップ	
④ 15 日 [15:35] (OIL2)	同様にして、20 $\mu$ Sv/h 超の計測が続いている。

※ 14 日 15:25 に緊急時モニタリングを実施したところ、福島第二原子力発電所南南西方向において、20 $\mu$ Sv/h 超が計測されていた。